

検体・菌株の検査について

[用語の説明]

令和8年4月6日現在

検査の目的①：流行状況の把握・感染源及び感染経路の特定（菌株・検体の確保）

検査の目的②：主に民間の検査機関等で検査が困難であり、その疾患が疑われる場合の検査等（保健所が行政検査が必要と判断した場合に検体を確保）

東京感染症アラート対象疾患：疑い例の段階で報告を求め、早期に病原体診断を行う疾患（東京都独自）

※四類のうち「マラリア」、五類全数疾患のうち「アメーバ赤痢」、「クロイツフェルトヤコブ病」、「後天性免疫不全症候群」、「梅毒」は除く。

疾患類型	病原体類型	疾患名	病原体	健安研で検査を行う研究科	検査の目的	備考
一類	一種 (ベストは二種)	エボラ出血熱、クリミア・コンゴ出血熱、痘そう、南米出血熱、ベスト、マールブルグ病、ラッサ熱	省略	(国立感染症研究所)	②	
二類	四種	急性灰白髄炎（ポリオ）	ポリオウイルス	ウイルス研究科（感染症）	②	
二類	－	ジフテリア	ジフテリア菌	病原細菌研究科(臨床細菌)	②	
二類	二種	重症急性呼吸器症候群（SARS）	SARSコロナウイルス	ウイルス研究科(エイズ・腸管ウイルス)	②	東京感染症アラート対象疾患
二類	三種	中東呼吸器症候群（MERS）	MERSコロナウイルス	ウイルス研究科(エイズ・腸管ウイルス)	②	東京感染症アラート対象疾患
二類	四種	鳥インフルエンザ（H5N1、H7N9）	鳥インフルエンザウイルス	ウイルス研究科(エイズ・腸管ウイルス)	②	東京感染症アラート対象疾患
三類	四種	コレラ	コレラ菌	食品微生物研究科（腸内細菌）	①	海外での感染が疑われる場合も、病原体の動向把握のため菌株を確保することが望ましい。
三類	四種	細菌性赤痢	赤痢菌	食品微生物研究科（腸内細菌）	①	
三類	四種	腸管出血性大腸菌感染症	腸管出血性大腸菌	食品微生物研究科（腸内細菌）	①	
三類	四種	腸チフス	チフス菌	食品微生物研究科（腸内細菌）	①	腸チフス・パラチフスについては健安研に搬入後、国立感染症研においてファージ型別検査を行う。
三類	四種	パラチフス	パラチフスA菌	食品微生物研究科（腸内細菌）	①	
四類	－	E型肝炎	HEV	ウイルス研究科(エイズ・腸管ウイルス)	①	*6 別途通知あり
四類	四種	ウエストナイル熱 (ウエストナイル脳炎を含む)	ウエストナイルウイルス	ウイルス研究科（感染症）	②	*1 蚊媒介感染症
四類	－	A型肝炎	HAV	ウイルス研究科(エイズ・腸管ウイルス)	①	*2 検体：ふん便または血清
四類	－	エキノコックス症	エキノコックス（蟻虫）	(国立感染症研究所)	②	
四類	四種	黄熱	黄熱ウイルス	(国立感染症研究所)	②	
四類	四種	オウム病	クラミジアシタシ (クラミジア)	病原細菌研究科(結核性感染症)	①	
四類	三種	オムスク出血熱	オムスク出血熱ウイルス	(国立感染症研究所)	②	
四類	－	回帰熱	(スピロヘータ)	ウイルス研究科（感染症）	②	*3 別途通知あり
四類	三種	キャサナル森林病	キャサナル森林病ウイルス	(国立感染症研究所)	②	
四類	三種	Q熱	コクシエラバーネッティ	ウイルス研究科(感染症)	①	
四類	三種	狂犬病	狂犬病ウイルス	病原細菌研究科(結核性感染症)	②	
四類	三種	コクシジオイデス症	coccidioides immitis（真菌）	(国立感染症研究所)	②	
四類	三種	エムボックス	エムボックスウイルス	ウイルス研究科(感染症)	②	
四類	－	ジカウイルス感染症	ジカウイルス	ウイルス研究科(感染症)	②	*1蚊媒介感染症
四類	三種	重症熱性血小板減少症候群（SFTS）	SFTSウイルス	ウイルス研究科(エイズ・腸管ウイルス)	②	*4 別途通知あり
四類	三種	腎症候性出血熱（HFRS）	ハンタウイルス	(国立感染症研究所)	①	
四類	三種	西部ウマ脳炎	西部ウマ脳炎ウイルス	(国立感染症研究所)	②	
四類	三種	ダニ媒介脳炎	ダニ媒介脳炎ウイルス	(国立感染症研究所)	②	
四類	二種	炭疽	炭疽菌	病原細菌研究科(結核性感染症)	①	
四類	－	チクングニア熱	チクングニアウイルス	ウイルス研究科（感染症）	②	*1 蚊媒介感染症
四類	－	つつが虫病	つつが虫病リケッチア	ウイルス研究科（感染症）	①	抗体検査は民間でも可
四類	四種	デング熱	デングウイルス	ウイルス研究科（感染症）	①	*1 蚊媒介感染症
四類	三種	東部ウマ脳炎	東部ウマ脳炎ウイルス	(国立感染症研究所)	②	
四類	四種	鳥インフルエンザ（H5N1及びH7N9を除く）	鳥インフルエンザウイルス	(国立感染症研究所)	②	
四類	三種	ニパウイルス感染症	ニパウイルス	(国立感染症研究所)	②	
四類	三種	日本紅斑熱	日本紅斑熱リケッチア	ウイルス研究科（感染症）	②	

検体・菌株の検査について

令和8年4月6日現在

[用語の説明]

検査の目的①：流行状況の把握・感染源及び感染経路の特定（菌株・検体の確保）

検査の目的②：主に民間の検査機関等で検査が困難であり、その疾患が疑われる場合の検査等（保健所が行政検査が必要と判断した場合に検体を確保）

東京感染症アラート対象疾患：疑い例の段階で報告を求め、早期に病原体診断を行う疾患（東京都独自）

※四類のうち「マラリア」、五類全数疾患のうち「アメーバ赤痢」、「クロイツフェルトヤコブ病」、「後天性免疫不全症候群」、「梅毒」は除く。

疾患類型	病原体類型	疾患名	病原体	健安研で検査を行う研究科	検査の目的	備考
四類	四種	日本脳炎	日本脳炎ウイルス	ウイルス研究科（感染症）	①	
四類	三種	ハンタウイルス肺症候群（HPS）	ハンタウイルス	（国立感染症研究所）	①	
四類	三種	Bウイルス病	Bウイルス	（国立感染症研究所）	②	
四類	三種	鼻疽	鼻疽菌	病原細菌研究科（結核性感染症）	②	
四類	三種	ブルセラ症	ブルセラ（細菌）	病原細菌研究科（結核性感染症）	②	
四類	三種	ベネズエラウマ脳炎	ベネズエラウマ脳炎ウイルス	（国立感染症研究所）	②	
四類	三種	ヘンドラウイルス感染症	ヘンドラウイルス	（国立感染症研究所）	②	
四類	三種	発しんチフス	発疹チフスリケッチア	ウイルス研究科（感染症）	①	
四類	二種	ボツリヌス症	ボツリヌス菌	食品微生物研究科（食中毒）	②	
四類	二種	野兔病	野兔病菌	病原細菌研究科（結核性感染症）	②	
四類	－	ライム病	ボレリア・バーグドルフェリ（スピロヘータ）	ウイルス研究科（感染症）	②	*3 別途通知あり
四類	－	リッサウイルス感染症	リッサウイルス	（国立感染症研究所）	②	健安研病原細菌研究科に相談可
四類	三種	リフトバレー熱	リフトバレーウイルス	（国立感染症研究所）	②	
四類	三種	類鼻疽	類鼻疽菌	病原細菌研究科（結核性感染症）	②	
四類	－	レジオネラ症	レジオネラ属菌	病原細菌研究科（臨床細菌）	①	*5 医療機関で培養検査を行っていない場合は喀痰検体も可
四類	－	レプトスピラ症	（スピロヘータ）	病原細菌研究科（結核性感染症）	①	
四類	三種	ロッキー山紅斑熱	ロッキー山紅斑熱リケッチア	ウイルス研究科（感染症）	②	スクリーニングのみ 確定検査は国立感染研で実施
五類	－	ウイルス性肝炎	HBV,HCV等	ウイルス研究科（エイズ・腸管ウイルス）	①	（集団発生時）
五類	－	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	腸内細菌目細菌	病原細菌研究科（臨床細菌）	①	
五類	－	急性弛緩性麻痺（急性灰白髄炎を除く）	エンテロウイルスD68型等	ウイルス研究科（感染症）	①	ポリオウイルスを否定した場合の検索対象
五類	－	急性脳炎	ウイルスの場合HSV、エンテロウイルス等	ウイルス研究科（感染症）	①	届出に病原体診断は必須ではない。 保健所がまん延防止・原因究明のために必要と判断した場合のみ行う。
五類	四種	クリプトスポリジウム症	クリプトスポリジウム（原虫）	病原細菌研究科（寄生虫）	①	（集団発生時）
五類	－	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	溶血性レンサ球菌	病原細菌研究科（臨床細菌）	①	
五類	－	ジアルジア症	ランブル鞭毛虫（原虫）	病原細菌研究科（寄生虫）	①	（集団発生時）
五類	－	侵襲性インフルエンザ菌感染症	インフルエンザ菌	病原細菌研究科（臨床細菌）	①	
五類	－	侵襲性髄膜炎菌感染症	髄膜炎菌	病原細菌研究科（臨床細菌）	①	
五類	－	侵襲性肺炎球菌感染症	肺炎球菌	病原細菌研究科（臨床細菌）	①	5歳未満一全ての医療機関から確保 5歳以上一基幹病原体定点から確保
五類	－	先天性風しん症候群	風しんウイルス	ウイルス研究科（感染症）	②	ウイルス陰性化の確認が必要な場合
五類	－	水痘（入院例）	水痘・帯状疱疹ウイルス	ウイルス研究科（感染症）	①	基幹病原体定点から確保 検体：咽頭ぬぐい液、水泡内容物（発症から概ね7日以内）
五類	－	播種性クリプトコックス症	クリプトコックス属真菌	食品微生物研究科（真菌研究室）	①	
五類	－	破傷風	破傷風菌	病原細菌研究科（結核性感染症）	①	破傷風菌の検出率が低いことから臨床診断による届出可能。創傷浸出液などを提出可能。
五類	－	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌	病原細菌研究科（臨床細菌）	①	
五類	－	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	バンコマイシン耐性腸球菌	病原細菌研究科（臨床細菌）	①	
五類	－	多剤耐性緑膿菌感染症	緑膿菌	病原細菌研究科（臨床細菌）	①	
五類	－	百日咳	百日咳菌	病原細菌研究科（臨床細菌）	①	
五類	－	風しん	風しんウイルス	ウイルス研究科（感染症）	①	原則として全数遺伝子検査対象とする

五類	－	麻しん	麻しんウイルス	ウイルス研究科（感染症）	①	原則として全数遺伝子検査対象とする
五類	－	薬剤耐性アシネトバクター感染症	アシネトバクター属菌	病原細菌研究科（臨床細菌）	①	
－	－	カンジダ・アウリス感染症	カンジダ・アウリス	食品微生物研究科（真菌）	②	

*1 蚊媒介感染症：デング熱のみ一部、医療機関での入院事例のみNS1抗原検査(ELISA法)が保険適用。 疑い例の検査については、連絡票を記入した上で都の防疫担当に相談する。

*2 食品衛生担当者と連携し調査を行った結果、食中毒の疑いが低い場合は感染症担当者が検体搬入を検討する。

平成22年4月26日厚生労働省通知「A型肝炎発生届受理時の検体確保等について」

*3 平成25年9月20日25福保健感第547号「ライム病及び回帰熱の病原体診断検査について」

*4 平成25年3月22日事務連絡「重症熱性血小板減少症候群（SFTS）における検査体制について」

*5 喀痰検体の場合は、抗菌薬使用前（開始後遅くとも数日以内）の検体が望ましい。

*6 平成28年10月17日28福保健感645号「E型肝炎発生時の病原体診断検査について」